

第11回山口県地震・津波防災対策検討委員会の議事概要

日 時：平成27年11月18日(水) 10:30～11:30

場 所：県庁4階 共用第5会議室

出席者：三浦会長、兵動委員、羽田野委員、山内委員

- 議 題
- 1 日本海で想定する地震・津波の被害想定結果について
 - 2 設計津波潮位（L1津波高）の設定について

■議事概要

（主な意見）

- 津波は、他県の場合など、いくら頑張っても間に合わない地域もあるが、山口県の場合、シミュレーションの被害軽減効果でも示されているように人的被害を無くすことが可能であり、住民の方には浸水想定等を踏まえ、迅速に避難していただく必要がある。
- 今回の被害想定結果は、県全体で見れば福岡県にあるF60断層（西山断層及び北方延長部の断層）が最大となるが、震源の位置によって、個別の市町においては他の断層で被害が最大になる場合があることに留意する必要がある。
- 今回の被害想定結果では、日本海側はほとんど液状化が起こらない想定になっているが、南海トラフ地震の場合など、瀬戸内海側では液状化による影響や対策を考える必要がある。
- 被害想定結果については、県内の企業によるBCP策定や自主防災組織での勉強会、防災マップ作成等に活用していただくため、情報提供の仕方を工夫し、わかりやすく、イメージしやすい形で県民の皆様に提供する必要がある。